



## 古董カフェへようこそ

秋めいてきた今日この頃。古董(アンティーク)と一緒に、ゆったりとした午後を過ごしてみませんか? 今回は味わい深いアンティークがたっぷりのカフェをご紹介します。



日の光が差し込む優雅な午後

### 小芳廷

#### Story

オーナーがこだわって集めたアメリカ・ヨーロッパのアンティークたち。カントリーミュージックが流れるおとぎの国へようこそ。



**小芳廷**  
 住 長寿路652号  
 上海国際時尚教育中心K棟  
 ☎ 6277-0558  
 〇 11時~22時



同店の隣や奥には「アンティーク博物館兼ショップ」(入場料30元/人、不定期開催)を構え、ブラリと並ぶアンティーク人形や食器は必見。写真撮影に訪れる人が絶えない人気店だ。

メルヘンでヨーロッパアンティーク  
 うっそうと茂るツタの中、小道を進むと現れる、イタリアンレストラン&カフェ「小芳廷」。  
 平屋の天井から差し込む光が心地よく、ヨーロッパやアメリカから仕入れたアンティーク家具で彩られたかわいく豪華な空間が広がる。シャンデリアきらめく大ホールの隣には、ピエロがほほえむ不思議な個室も。色とりどりの花や鳥かこの小鳥のさえずりを聴いていると、おとぎの国に迷い込んだような気がしてくる。



素朴な甘さの「小豆スムージー」(54元)

### 三月珈琲館

#### Story

蘇州河のほとりにポツンと佇む歴史的建造物。暗く長い廊下を抜けた先には、ちよびヒゲマスターとネコが働く老房子カフェが。



**三月珈琲館**  
 住 万航渡路1384弄  
 12号湖絲綫創園区  
 1号楼2階  
 ☎ 6090-0331  
 〇 10時~22時



おばあちゃん家の安心感  
 中山公園の後ろ側、蘇州河のほとりにある「三月珈琲館」。取り壊しが進むエリアにはぽつんと佇む建物の2階にあり、1階の入口とロビーが暗く少々不安になるが、木の階段をギンギン上っていくと現れる。  
 ここは中国の古い家具や食器を使ったカフェ。2階建てのゆつたりとしたスペースで、どの席にもコンセントがあるのがうれしい。大学が近いためか、勉強している学生も多い。  
 年季の入った扇風機やテレビ、ラジオ、花瓶など、ごちゃごちゃと色んな雑貨が置かれた店内は、おばあちゃんの家のように懐かしい。時々巡回してくる猫と一緒に、まどろみたくなるようなくつろぎのカフェだ。



ランチやアフタヌーンセットが人気

### 古董花園

#### Story

チリリンというベルとともにドアを開ければ、そこはオシャレな老房子。地元民に愛されるちよつとお茶目な秘密の花園だ。



**古董花園**  
 住 思南路44号  
 ☎ 5382-1055  
 〇 11時~翌2時



人と文化が交わる場所  
 繁華街から少し離れたところにあるカフェ&バー「古董花園」。  
 歴史的建築物である洋風の別荘風建物「老洋房」を丸ごとリノベートした同店。1階がカフェで、2階がバーだ。1階フロアにはくつろげるローテーブルの席から学習机までがあり、皆思い思いに座っている。  
 十数年経営を続ける同店は、観光客から地元民まで、幅広い客層が通う。一生懸命写真を撮る人もいれば、上海語を賑やかに飛び交わせる人も。アンティークもよく見ると中国の古代地図からアメリカのポスター、浮世絵までが見つかり、もはや何でもあり。色々な人と文化が混ざった様子は上海らしさの詰まりだ。



人知れずヴィンテージ品に囲まれる午後

### 古董花園

(淮国旧店)

#### Story

昔懐かしの中古店が、とっておきのアート&撮影スポットになった。キラキラのブランド品に囲まれ、淮海路を見下ろそう



**古董花園(淮国旧店)**  
 住 淮海中路766号  
 2階  
 ☎ なし  
 〇 10時~22時



ヴィンテージ品の奥で  
 「古董花園」はブランド中古ショップ「淮国旧店」の2階に、もう1店舗ある。  
 「淮国旧」は1950年代にあった国営の中古用品店で、時計やカメラ、革製品、シルク用品など、高級品が比較的手ごろで人気を集めたと同時に、富裕層が通う店として憧れの対象でもあった。現在はその面影をアンティークや展示コーナーで残しつつ、高級ブランド中古品を販売するショップとしてカムバックしている。  
 2階のカフェは穴場と化しており、窓際のカウンター席でゆつくり読書や作業ができる。高級ブランド品とアンティークに囲まれながら、淮海路の時の流れに思いを馳せてみよう。